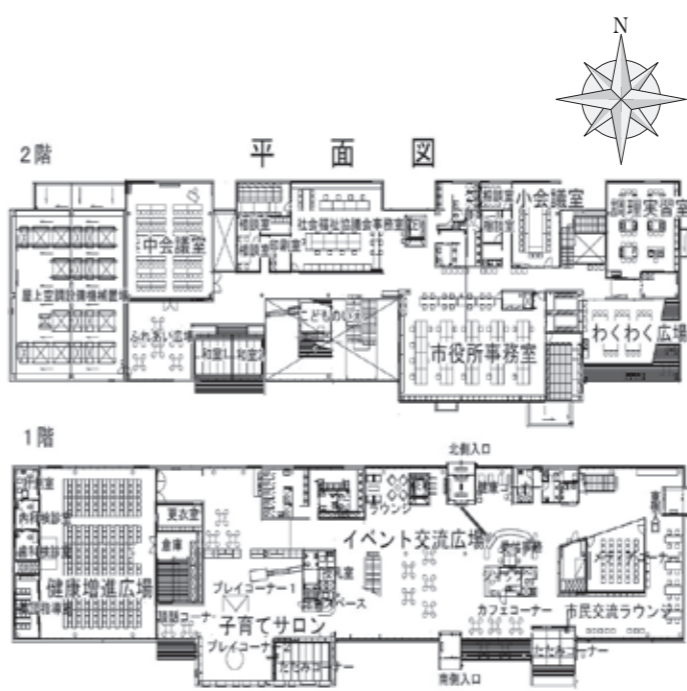




■百歳
おめでとうございます
おめでとうございます

12月2日に遠藤ユキノさん（白岩字馬場）が百歳を迎えられました。賀寿のお祝いは自宅で行列、中野副市長はじめ多くの皆さんから、祝状や祝金、花束などが贈られました。遠藤さんは、視力や聴力等日常生活に支障もなく、手芸などをしながらお元気に過ごされています。

長寿の秘訣は「規則正しい食事と手先を動かすこと」だそうです。



■（仮称）複合施設建設始まる！

本宮字千代田地内で（仮称）複合施設の建設が始まりました。今回は、施設のレイアウトについてお知らせします。

1階には健康増進広場や子供の広場、多世代交流機能を配置しました。2階には事務室や会議室、調理実習室などがあります。総合健診や乳幼児の各種検診はもちろん、健康講話や福祉関連の研修にご利用いただけます。

◆問い合わせ先
高齢福祉課（☎内線118）

利用いただけます。また、小さな子供たちが自由に遊べる広場として子育てサロンを設置しますので、子育て支援施設として、さらに高齢者が気軽に立ち寄って多世代と交流したり、仲間の皆さんとの語らいができる憩いの場としてご利用いただけます。



11月28日、佐藤市長に受賞報告をする殺野さん（前列左）、野内会長（前列右）と菊友会の皆さん

**■福島県菊花品評大会で
内閣総理大臣賞を受賞**
5年連続の快挙

福島県菊花品評大会の表彰式は、11月24日に二本松市の菊人形会場で行われ、個人の部では本宮菊友会の殺野只信さん（本宮字米田）が3年連続4度目となる最高賞の内閣総理大臣賞を受賞、本宮菊友会としては5年連続の受賞となりました。また、奥さんの節子さんは農林水産大臣賞、作田裕さん（本宮字兼谷平）は文部科学大臣賞、菊友会会長の野内勝典さん（本宮字中條）は国土交通大臣賞、斎藤満さん（本宮字堀切）は二本松観光協会会長賞を受賞しました。さらに、団体の部では、3年連続4度目となる団体優等賞を獲得。本宮菊友会の技術の高さを示しました。



■NHK厚生文化事業団主催「第43回NHK障害福祉賞」
矢吹キミさんが優秀賞を受賞

12月10日に矢吹キミさん（荒井字新介）が佐久間教育長を訪問、NHK厚生文化事業団主催の「第43回NHK障害福祉賞」の優秀賞を受賞したことを報告し、入賞した作品集7冊を寄贈されました。

矢吹さんは、ホームヘルパーとして働くことを通じて知り合った認知症の方との体験を生かして書きつづり、「認知症をひとりでも多くの方に知っていただきたい」と書いて書いてきました。

**■うつくしま、ふくしま。環境顕彰
本宮第二中学校生徒会が受賞**

12月21日に郡山市のビッグパレットふくしまで「ふくしま環境・エネルギーフェア2008」が開催され、その席上で本宮第二中学校生徒会が「うつくしま、ふくしま。環境顕彰」を受賞し表彰されました。同校生徒会は、JR五百川駅の清掃活動を行っていることや30年以上にわたり県道本宮・熱海線沿いの花壇整備を行っていることが評価され受賞したものです。表彰式には生徒会長の宍戸



昨年6月に五百川駅前の花壇に花の植付けを行った時の様子。

宍戸さん、副会長の矢吹直哉さんと斎藤良一校長が出席しました。

■NHK厚生文化事業団主催「第43回NHK障害福祉賞」
矢吹キミさんが優秀賞を受賞

寄贈された作品集は市内3つの中学校と、中央公民館の図書室に置かれたもので是非ご覧ください。

佐久間教育長に受賞の報告をする矢吹さん

シリーズ
「未来に輝くまちづくり」(6)
本宮市長 佐藤嘉重

アメリカ発の金融危機は、世界市場に影響を与え、百年に一度と言われる混乱と不安を招いています。また一昨年から原油価格高騰に伴う原材料費の値上がりなどで、私たちが取り巻く経済環境は悪化しています。重ねて景気後退による影響により、暮らしの安心が脅かされている状況です。

日本経済は「全治3年」と言われており、政府は内需拡大による経済成長と安心実現のため、様々な対策を打ち出しました。

このうち、地域活性化のための交付金が、全国の市町村に交付されることになり、本市におきましては、この交付金を活用し、かねてより検討しておりました「小学生医療費の無料化」を実施することにしました。

小学生の医療費につきましては、平成19年4月から入院にかかる医療費助成を実施していましたが、本年1月診療分からは通院を含め、医療費の自己負担分全額を市が負担いたします。

また、この交付金事業では、心臓麻痺により倒れた人の命を救うことができる心臓救命装置「自動体外式除細動器」（通称AED）の設置箇所を増やすこととし、教育施設等への設置拡大を進めていきます。

今回の交付金事業は、平成20年度限りですが、子育て支援の充実により、「安心して子どもを生み育てられるまち」を実現していくため、「小学生医療費の無料化」は、平成21年度以降も引き続き実施したいと考えています。

■ 自主防災組織等育成のため 映像機器を整備

安達地方広域行政組合消防本部では、財団法人日本消防協会の「平成20年度民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進事業」の助成を受け、DVDレコーダーと液晶プロジェクター各一式（56万円相当）を整備しました。

この事業は、宝くじ受託事業収入を財源とする宝くじの助成金で整備したもので、今後女性防火クラブ（女性消防協力隊）や自主防災組織の育成強化をはじめ、防火広報などに有効に活用されます。

